（管理規則第３条実施要領　別紙様式）

２０２４　年度（令和　６　年度）学校評価自己評価表

鷹取中学校区	校番　４	福山市立鷹取中学校
	最終更新日	2025 年（令和７年）3月４日

Ⅰ　福山市

ミッション　　福山に愛着と誇りを持ち,変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン　　「福山１００ＮＥＮ教育」の基本理念のもと,各中学校区・学校が「２１世紀型“スキル＆倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し,日々の授業を中心として評価・改善を進めながら,子どもたちの確かな学びを実現している。

Ⅱ　中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容

- 各校不登校児童生徒に地域と連携をした取組を行っている。
- 子どもたちが「わかる・できる」と思える授業づくりを目指して欲しい。
- 地域を大切に思う児童生徒を育成して欲しい。

児童生徒の現状

- 基礎学力はおおむねついているが、思考力に課題がある。
- 人間関係づくりが苦手な子どもが増えてきている。
- 長欠・不登校の子どもが一定数いて取組をしているが改善が難しい。

育成する力（21世紀型“スキル&倫理観”）	知識・技能　　課題発見・解決力　　主体性
めざす子ども像（義務教育修了時の姿）	気づき　　考え　　行動する　子ども
中学校区として統一した取組等	・子どもたちが「わかる・できる」と思える教育活動の推進 ・SDGｓをふまえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成 ・個性や能力が発揮できる学校組織づくり

Ⅲ　自　校

ミッション

霞小・光小と連携して「２１世紀型“スキル＆倫理観”」の育成を図ることを通して,地域に誇れる学校を創造する。

学校教育目標

挑戦する心を持ち、未来を創造できる生徒の育成

現　状

＜生徒＞
〇生徒は非常に素直で、課題等やらなければならないことはやろうと努力する生徒が多い。また、自分の意見や考えをもち、それを文章にする力や表現する力はついてきている。しかし、基本的な知識や用語の定着、その知識を活用して説明する力はつけきれていない。

＜授業＞
〇各教科 ICT を活用し、生徒の学習意欲を高める工夫をしながら授業を進めている。
〇授業の中で指導者があらかじめ教材や方法等をすべて準備しているため、子どもが、見通しをもって単元内で自分の学習計画を立て、課題も自分で考え探究する教科が少ない。子どもたちが、自分の学び方を選び、学びをデザインできるような授業を目指したい。

育成する力（21世紀型“スキル&倫理観”）	知識・技能	課題発見・解決力	主体性
めざす子ども像	課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。	問いを見いだし、その解決にむけて仮説を立てたり、結果を予測しながら実行したり、調査して得た情報を元に自分の考えを形成・表現したりするとともに、仲間と互いの考えを伝え合うことで多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりすることなどをとおして課題解決したことを、次の課題発見・解決につなげていくことができる。	すべての学習や活動に主体的・協働的に取り組むとともに、仲間と互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

研究	テーマ	生徒が「考え」「わかる」「できる」授業づくり
	内容等	～　挑戦し、自らの学習を自ら考え、デザインできる生徒の育成　～
めざす授業の姿	・考える仕掛けのある授業 ・多様な自己表現の場がある授業 ・学びの価値が感じられる授業 ・子どもが自ら「決められる」場がある授業	⇒ 分かる・できたを感じる授業 学びが面白いと感じる授業 もっと知りたいと感じる授業 次へ繋がるふりかえりのある授業

Ⅳ　目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鷹取中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日） □指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	最終評価（2月末） □指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価	改善方策
3	子どもたちが通いたくなる教育活動の推進	★	継続	・「分かった・できた」が実感できる授業づくりを推進する。 ・個に応じたきめ細やかな支援を工夫する。	・ICTを活用した鷹取中学校探究スタイルを推進する ・各教科生徒自ら学び方を判断し調整する場の設定をする。 ・各授業で自分の学び方等についてのふりかえりをさせ、それに対して適切なフィードバックを行う。 ・縦割り集団で活動する場を設定し、リーダーを中心に生徒主体の行事づくりを進める。	・授業についてのアンケート項目肯定的評価85%以上 ・生徒主体の行事に関するアンケート項目肯定的評価８０%以上 ・長欠不登校生徒の割合 昨年度より減少 （昨年度11.4%）	・学習方法を計画して学習する場が設定されている93% ・学び方を振り返る場が設定されている95% ・リーダーを中心に生徒主体ですすめる92% ・行事で何ができるか自分で考えて取り組む96% ・長欠不登校生徒17名（6.8%）	3	3	・各教科で既習事項の確認や、既習事項を活用した振り返りや課題を設定し、教科や学校全体で取り組み状況について研修を行う。 ・次のリーダーを育成するための仕組みづくりを計画する。 ・きめ細かい生徒指導および教育相談を継続する。	・学習方法を計画して学習する場が設定されている89% ・学び方を振り返る場が設定されている95% ・リーダーを中心に生徒主体ですすめる91% ・行事で何ができるか自分で考えて取り組む97% ・長欠不登校生徒22名（8.8%）	4	4	4	・鷹取中学校探求スタイルを継続するとともに、振り返りでまとめた知識や思考を活用した課題や問題を仕組み、次の授業や試験に取り入れる。 ・生徒一人一人が活躍できる行事を生徒主体で計画・実施するためのリーダー育成と全体計画を進める。 ・不登校生徒は増えつつあるが、担任の取組の成果もできている。生徒が居心地がよい場所を学校全体で作っていく。
3	SDGｓを踏まえたふるさと学習を通して地域に貢献できる子どもの育成		継続	・地域との連動を進めながら、住み続けられるまちづくりを目指した取り組みを進める。	・地域の人材を活用した授業づくり行う。 【総合的な学習の時間での取組】 1年：SDGｓと福山の企業との関り 2年：職場体験による地域人材との連携 3年：SDGｓの目標達成に向けて	・地域の人材に関するアンケート項目肯定的評価80%以上	・各学年総合的な学習の時間や行事の中で、地域人材を活用する場面の設定を行った。	3	3	・コミュニティスクール導入に向けて、引き続き小中で交流していく。また、校区で地域人材について整理したことをどのように活用するか計画する。	・今年度の行事や総合的な学習の時間で扱った内容と、地域の資源や人材を活用した場面（出前授業・折りバラ・服のカプロジェクト・職場体験）の整理を行い、来年度の計画に活用できるようにしている。	4	3	3	・来年度から始まるコミュニティスクールでの活用を生徒が主体となり、計画・実施・振り返りができるような基盤づくりと計画を小中で進めていく。

３	個性や能力が発揮できる学校組織づくり		継続	・幸せな職場環境の実現を進める。	・教職員が設定した目標や感じた課題を交流・改善する場面を設ける等、学校全体でつながる機会の設定 ・学年や分掌で、役割分担・取組の共有を行い、業務の効率化を進め、定時退校日に定時退校できるようにする。	・教職員アンケート「支え合う職場環境」に関するアンケート肯定的評価７０％以上 ・時間外勤務４５時間以内の達成率６５％以上	・自分の挑戦に対して協働してくれる仲間がいる。肯定的評価91.7% ・人と違うこと,異なった意見を尊重している。肯定的評価100% ・勤務時間外45時間以内の4～9月の達成率69% （昨年度73%）	３	３	・暮会や校内研修などで，必要な情報の共有や分掌での協働的な業務遂行や業務の効率化を進めるため、主任主事や分掌担当が見通しをもって計画、声掛けを行う。	・自分の挑戦に対して協働してくれる仲間がいる。肯定的評価92.3% ・人と違うこと,異なった意見を尊重している。肯定的評価100% ・勤務時間外45時間以内の10～1月の達成率84% （昨年度73%）	４	４	４	・教職員の意欲は高い状態を維持できている。業務については、学年や分掌単位で業務の効率化を進めていく。退校時間の目安の時刻を設定する。

［プロセス評価の評価基準］

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

［達成評価の評価基準］

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

［総合評価の評価基準］

評点	評価基準	
5	１００％以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	８０％以上１００％未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	６０％以上８０％未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	４０％以上６０％未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	４０％未満の達成度	目標を達成できなかった。